

図書資料をから時代のイメージを得て、動的に作品鑑賞をする

～『盆土産』『字のない葉書』の時代と家族、父親像に迫る～

国語科 佐藤敏子

- 1 ねらい
 - ・「昭和」時代を押さえ、各自がイメージをもった上で作品の世界に迫る。
 - ・図書資料、写真資料を用いて、当時の生活状況と時代背景を知る。
 - ・参考文献・資料の記録の仕方を身につける。
 - ・朗読を通して作品の世界を味わわせる。

*利用する図書資料

- ・『写真ものがたり 昭和の暮らし1～10』 農山漁村文化協会（2006）
- ・『子どもたちの昭和史』 大月書店（1984）
- ・『写真集 写真と作文でつづる昭和の子どもたち1～3』学研（1986）
- ・暮しの手帖社 『戦中・戦後の暮らしの記録』

図書資料を通して、生徒に感じてほしいこと、伝えたいこと

- 地方での生活、豊かな自然環境。
- 生活環境の厳しさ、インフラ未整備ではあるが、活力をもって逞しく生きる人々。
- 先祖を敬い、お盆を大切にし、家族の結びつきは強かった。（日本の伝統）
- 高度成長期の日本を支えた出稼ぎ労働者の厳しい現実と日本経済の成長、農村の衰退。
- 戦時中の人々の生活の厳しさと支え合い。

キーワード お盆 出稼ぎ 祖母と子どもだけの生活 方言 地方(田舎)

2、学習計画 【8時間】

- ①図書資料を用いて、昭和の時代のイメージを持ち、交流する。（図書室）【1時間】
- ②小説『盆土産』を読み、朗読劇に向けて、登場人物、話の流れを理解させる。【1時間】
- ③登場人物の気持ちを考え、朗読劇を行う。（6人班）【2時間】
- ④随筆『字のない葉書』を読み、登場人物と話の流れを理解させる。【2時間】
- ⑤2つの作品に出てきた父親を比較して、共通点と相違点を見つけ、感想を書く。【2時間】

3、授業略案

- ①図書資料を用いて、昭和の時代のイメージを持ち、交流する。

	内 容	注意点
はじめ ー3分	令和元年。「平成」は30年間、「昭和」は63年と7日。……これから昭和に書かれた小説と随筆に入っていくので、時代について一人一人が、一人1冊選び取り、20分間資料を見て、イメージを持ってもらいたいと思います。その後グループ内で発表し合い、次に自分たちの班で出された内容を学級全体に報告します。	班の机に資料を人数分置く

なか 35分	「私が選んだ昭和の一コマ」をテーマに、写真1枚または本の1ページを選ぶび、写真やページの内容の説明と、選んだ理由を発表できる用に準備する。(15分間) グループ内交流—資料を見せながら順に一人ずつ発表する。(5分) グループで話し合っ、昭和がどんなイメージの時代かを一言で表して、A3紙に書いて黒板に貼り、グループで出された内容を代表者が報告する。(15分)	ワークシートの配布。 フリップ用 A3 紙を班に 1 枚配布
終わり 5分	この時間の感想を書き、各自が昭和のイメージをまとめる。	

②小説『盆土産』を読み、朗読劇に向けて、登場人物、話の流れを理解する。

	内 容	
はじめ 5分	前回、昭和時代のイメージを各自がもってくれたと思います。今日はその昭和の時代戦争が終わって、高度成長期に入ったころのおそらく昭和30年代、前の東京オリンピックの準備で東京中が工事現場となっていたころの話です。 舞台はとある農村、どの地方にあるかは皆さんで考える。話はある家族の、お盆の2日間の出来事です。家族の会話がたくさん出てきますので、会話+αの部分について、班ごとに朗読劇をしてもらいます。朗読ですので、人物像とその時の人物の気持ちを理解する必要があります。	
なか 25分 15分	朗読CD(23分)を流す。 内容について確認する。(15分) 登場人物 各人物についての簡単な特徴を板書。 *発表順と登場人物6人の配役と演出監督を決める。	人物考査後、台本の配付
終わり	次回の予告をする。	

③話の流れを確認し、班ごとに朗読劇の練習をし、発表会準備をする。

	内 容	
はじめ 5分	本時の流れを説明する。 練習10分—発表会—どの班、どの読み手が人物像や登場人物の気持ちを丁寧に的確に読み取って表現できていたか、投票することを予告する。 *朗読劇台本を配付する。	
なか 20分	練習(演出のリーダーを通信に、個人、通し練習、話し合い、手直しを繰り返して練習)	
終わり 10分	担当する役とその人物像や気持ち、読みで工夫する点を記入する。	

④盆土産の朗読劇発表会を行う。

	内 容	
はじめ 3分	本時の流れを説明する。舞台は前黒板の前。班の朗読劇の発表後、朗読劇の感想と、一番良かった班を記入してもらいます。	
なか 30分 10分	朗読劇の続き。班ごとに前に出て発表＋一人ずつ人物像と読みの工夫を発表する。 5分×6班 ワークシートに朗読劇の感想、印象に残った場面、登場人物について記入し、一番良かった班を選んで記入する一提出。(35分)	
終わり	次回の予告。	

⑤随筆『字のない葉書』を読み、内容を理解と父親の人物像に迫る。

	内 容	
はじめ 3分	本時の流れを説明する。 『字のない葉書』を読み、筆者の回想の中心は何だったのかを捉えましょう。	
なか 35分 6分	『字のない葉書』をペアで、役割を交代して音読しあう。 朗読劇で最優秀だった班の全員に前に出てもらい、朗読させる。 家族構成の確認。 構成・前半＝父の人物紹介（目の前の父・手紙の中の父＝父の実像）、 ・後半＝心に残るエピソード思い出話 各自ノートにまとめる。 なぜ「字のない葉書」のエピソードが最も心に残ったのだろう/父親の涙はうれし涙か？ グループ活動→学級全体で交流	泣
終わり	次回の予告。昭和の2人の父についての感想を書く。	

⑦ 単元を振り返って文章にまとめる。

	内 容	
はじめ 3分	本時は3つの課題から、一つ選んで文章にしましょう。 課題に入る前に、『盆土産』の父についても考えてみよう。	
なか 20分 ・20分	父は夕食時、家族にえびフライを食べさせながら、何を考えていただろう。 グループ活動→学級全体で交流 課題A「昭和」について、自分が得たイメージを書く。 B「二人の父親を論じる」2つの作品に出てきた父親の共通点と相違点を見つけ、感想を書く。 C『盆土産』と『字のない葉書』を通して印象深かった人物や場面を書く。	
終わり	原稿用紙を回収する。	